

キャラクター名
霧咲・J・ノワール

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー ハヌマーン	ワークス	FHチルドレンA	カヴァー	イリーガル
オプション		年齢	14	性別	女性
覚醒	素体	衝動	殺戮	初期侵食率	34 %
出自	義理の両親	経験	死と再生	邂逅	喪失

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	36
肉体	2	1	3	1		7	行動値	8
感覚	3		0			3	(非装備時)	8
精神	2		0			2	戦闘移動	13
社会	1		0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	9		射撃			RC	1		交渉		
回避	8		知覚			意志	4		調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赫き剣	白兵	7r+9	0	18		コスト:3 8+消費したHP[上限Lv*2]
破壊の血	白兵	7r+9	5	33		コスト:5 攻撃+Lv*3
月夜の血霧	白兵	11r+9	5	33		コスト:9 装甲無視、HP16回復
完全解体(パストリバルサー)	白兵	12r+9	5	38		コスト:9 装甲無視、HP20回復 ※100%

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
防弾防刃ジャケット	6	3			

所持品	

合計装甲: 3 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
ロイス:(対抗種)カウスターレネゲイド	P	N		
	P 連帯感	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
C:ブラムストーカー	3	2	メジャー					
効果:	C値-Lv(下限7)							
スタートダッシュ	1	3	セットアップ					
効果:	戦闘移動を行う。離脱可能							
赫き剣	5	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	武器作成							
破壊の血	5	2	マイナー			自動	リミット	
効果:	《赫き剣》の攻撃+Lv*3 ガード値+5							
渴きの主	4	4	メジャー	至近	単体	白兵		
効果:	装甲無視:自身のHP[Lv*4]回復							
電光石火	3	3	メジャ/リア			肉体・感覚		
効果:	判定ダイス(Lv+1)個 HP-1D失う							
リミットリリース	★	6	オート	至近	自身		100%	
効果:	C値-1(下限5)							
L:ハヌマーン	2	2	リア			シンドローム		
効果:	C値-Lv(下限7)							
援護の風	5	2	オート	視界	単体	自動		
効果:	対象の判定+LvD							
ウィンドブレス	3	2	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果:	《援護の風》の判定達成値+[Lv*3]							
AE:鮮血の修羅	3	6	メジャー		単体	シンドローム	120%	
効果:	与ダメージ時、対象はクリンナップに「Lv*10」HPを失う							
軽功	★							
効果:								
効果:								

FHチルドレン。幼い頃からレネゲイドウイルス投与や実験などで体を弄られており、そのせいか精神的にも肉体的にも強い。
FHの施設では、圧殺、殿殺、塵殺、虐殺、絞殺、斬殺、刺殺、射殺、銃殺、焼殺、毒殺、爆殺、焚殺、謀殺、撲殺、葉殺、轢殺、等等様々な暗殺方法や戦闘技術を叩き込まれていた。その為、社会的知識にかなり乏しい。ただ社会的知識に乏しくとも頭の回転は早く、また自身の見た目が敵の油断を誘うことができることも知っているため、暗殺者としてはかなり優秀である。

《対抗種》を宿しており、対オーヴァード戦においてもかなりの攻撃力を発揮できるものの、自らの寿命も蝕まれていくため、他者の血液を、特にオーヴァードの血液を取り込み、その血液を先に代償にして延命している。その為、趣向目的での殺人は行わない。

上記の性質上、全てのオーヴァード、ジャームが狩猟対象となる為、敵味方の概念が薄い。心を許す者の性質によって黒とも白ともなる。

その卓越した暗殺技術や大量殺人を行う性質、細切れに惨殺するため現場に血の霧発生することから、コードネームとして《血霧の殺人鬼(ジャックザリッパー)》と呼ばれるようになった。

誕生や経験から、葉関係にはあまりいいイメージを持っていない。また、研究施設内などは、吐き気を感じるほどのトラウマとなっている。よく外にいるのはそのため。

マスターマッドドックとは旧知の仲。殺し合うほど仲がいい(え)